

要請番号 (JL63024B25)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	G130 柔道	20~45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2025/2・2025/3・ 2026/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

青年・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

モザンビーク柔道連盟

3) 任地 (マプト市) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩で約0.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

モザンビーク柔道連盟は、国内における柔道の普及をはじめ、他国連盟との調整、技術支援、国内大会の主催など国内外の柔道に関する振興を担っている。マプト市およびマトラ市内の12のクラブチームおよび学校10校が所属している。国からの年間予算は40万円程度。2024年のパリオリンピックにも1名出場しており、国際柔道連盟の支援を受けている。柔道隊員の主たる活動場所は、連盟が支援している教会系の孤児院内の体育館とクラブチームとなる。2017年3月よりJICA海外協力隊(短期)、2018年10月よりJICA海外協力隊(長期)が派遣されていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は、柔道が体の鍛錬と人格形成を目的としたスポーツであると認識し、柔道創始者である嘉納治五郎の精神性を取り込みたいとしている。主な活動先となる孤児院では、孤児の女子たちが今後予想される困難な状況を克服できるよう、柔道を通して健全な心身の育成が求められており、孤児院から将来代表選手が出ることも期待されている。既存選手に対する指導については女子柔道チームを構成し、主要国際大会参加に向けた選手強化支援も期待されている。前任者は2019年に東京で開催された世界柔道選手権にコーチとして帯同している。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

現地スタッフと連携して、以下の活動を行う。※関係者と対話し、必要に応じ柔軟に内容を変更しながら活動する。

- 孤児院の女子(50名程度)を対象とした指導。
- 各クラブチームへの指導。
- 柔道の国際大会等に向けた代表選手強化トレーニング支援。
- 柔道の普及および広報活動。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道活動場所(孤児院内体育館、クラブチーム練習場)、畳(マット)

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】
連盟会長 1名 50代 男性
連盟副会長 1名 40代 男性 事務局長 1名 30代 男性
コーチ 14名 (28~40歳)
【活動対象者】

孤児院の女子 約30～40名(8-21歳)
クラブチーム 約200名(6-34歳、男性:70%、女性:30%)

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(柔道三段)

[学歴]：(大卒) 備考：配属先の要望

[性別]：() 備考：

[経験]：(競技経験) 10年以上 備考：配属先の要望
(指導経験) 10年以上 備考：配属先の要望

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(10～35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】